

GLORY REPORT

グロリーレポート

トップメッセージ

『長期ビジョン2018』の実現に向けた取組みは最終ステップへ—
さらなる飛躍に向け、次の一步を踏み出します

p06

海外トピックス

2015年ミラノ国際博覧会
日本館でCASHINFINITY®が活躍

p07

国内製品トピックス

新機能を加えて
オープン出納システムがパワーアップ!

第69期
報告書

平成26年4月1日から
平成27年3月31日まで

Contents

ハイライト	01	トップメッセージ	02	海外トピックス	06
国内製品トピックス	07	財務データ	09	会社情報	10
株主メモ					

GLORY Highlights

売上高

2,269 億円

営業利益

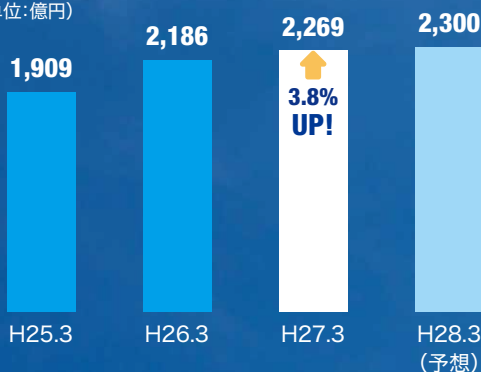
191 億円

売上高、利益ともに増加

●本頁に記載の数値は、いずれも連結ベースです。

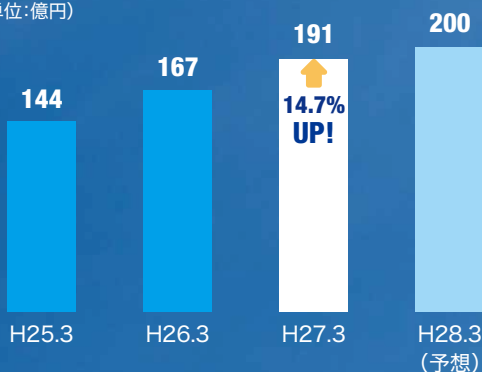
売上高

(単位:億円)



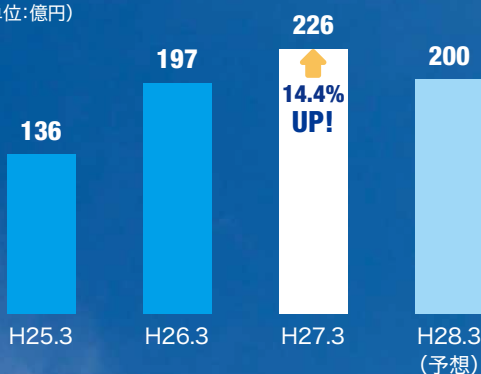
営業利益

(単位:億円)



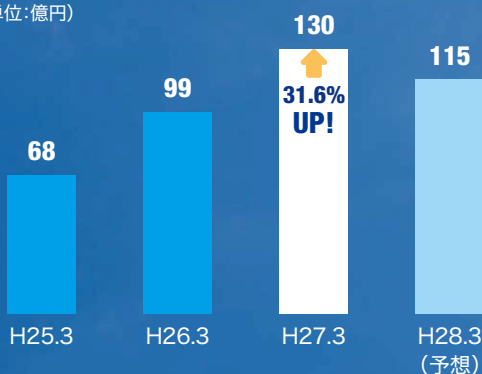
経常利益

(単位:億円)

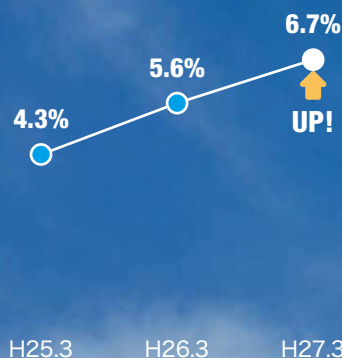


当期純利益*

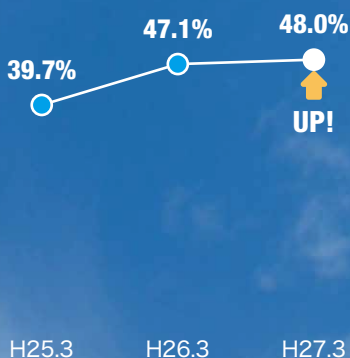
(単位:億円)



ROE



海外売上高比率



*「企業結合に関する会計基準」等の改正に伴い、平成27年3月期に「当期純利益」としていた表示科目は、平成28年3月期より「親会社株主に帰属する当期純利益」に変更されます。

『長期ビジョン2018』の
実現に向けた取組みは
最終ステップへ—
さらなる飛躍に向け、
次の一步を踏み出します

代表取締役社長

尾上 宏和



平成27年3月期の事業概況と業績について

国内は金融市場、海外は米州が業績を牽引し、 5期連続の増収増益を達成

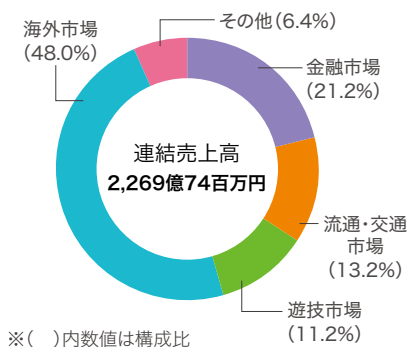
当期の日本経済は、消費税率引上げによる影響が長引き、個人消費に弱さが見られましたが、企業収益や雇用情勢が改善傾向となるなど、緩やかな回復基調となりました。一方、世界経済は、米国では回復傾向が持続し、欧州でも緩やかながら回復の動きが持続したものの、中国を始めとした新興国では減速傾向となるなど、全体としては不透明な状況で推移いたしました。

このような経営環境の下、当社グループは、『2014中期経営計画』の最終年度として目標達成に向けた諸施策を積極的に展開してまいりました。この結果、上半期に低調であった金融市場は下半期には回復し、海外市場も総じて堅調であったうえに円安効果が加わり、5期連続の増収増益を達成いたしました。

セグメント別にみますと、国内の金融市場では、主要製品である「オープン出納システム」が順調に推移いたしました。特に、昨年11月に発売した標準タイプの新製品<WAVE Pro> (7頁ご参照)が順調に滑り出し、中小規模店舗向けのコンパクトタイプも大口需要を獲得いたしました。流通・交通市場では、消費税率引上げ等の影響によりスーパーマーケット等、小売店の設備投資が先送り傾向にあり、主要製品である「レジつり銭機」の販売が伸び悩みました。一方、遊技市場では、ホール数の減少や市場競争の激化等、依然厳しい状況は続いたものの、既存店舗における更新需要を獲得し、主要製品である「カードシステム」等の販売が好調に推移いたしました。

海外市場につきましては、北米では、米国経済の順調な回復を背景に、金融機関で設備投資が進み、「紙幣入出金機」の販売が好調でありました。また、アジアでは、特にインドにおいて、偽造紙幣検知や正損選別に使用される「紙幣整理機」の販売が大きく拡大いたしました。

セグメント別売上高



	平成26年3月期(前期)	平成27年3月期(当期)	前期比
金融市場	456億54百万円	481億16百万円	+5.4%
流通・交通市場	310億7百万円	298億86百万円	-3.6%
遊技市場	248億11百万円	254億32百万円	+2.5%
海外市場	1,030億2百万円	1,088億59百万円	+5.7%
その他	141億56百万円	146億79百万円	+3.7%
合計	2,186億32百万円	2,269億74百万円	+3.8%

『2014中期経営計画』を振り返って

海外事業の規模が大きく拡大 収益性には課題が残る結果に

『2014中期経営計画』では、平成24年度からの3年間、『長期ビジョン2018』実現に向けた第1ステップとして、「事業戦略」、「機能戦略」、「企業戦略」を3本柱に、諸施策を展開してまいりました。

「事業戦略」では、基盤事業である国内事業において、当社製品がまだ導入されていない市場へ積極的な営業施策を繰り広げ、金融市場ではコンパクトタイプの「オープン出納システム」を中小規模店舗へ、流通・交通市場では「レジつり銭機」を飲食チェーン店や専門店等へと、販売を拡大いたしました。

一方、成長事業である海外事業においては、当計画期間中に実施した英国・タラリス社買収によるシナジーの早期創出及び最大化を経営の最優先課題とし、両社事業の統合に取り組んでまいりました。タラリス社の強みであった販売・保守網を最大限に活用し、地域別戦略を推し進めた結果、大口商談の獲得やこれまで当社が未進出であった地域への販売拡大など、その成果は確実に現れております。海外売上高比率は、買収前の24%から48%にまで上昇し、海外事業は国内事業に匹敵する規模へと成長を遂げました。

「機能戦略」では、グローバル市場における競争力の強化に注力し、技術のプラットフォーム化による開発効率の向上、国内外の生産体制の最適化や生産効率向上によるコストダウン等、企業体質の強化を進めてまいりました。

「企業戦略」では、「事業戦略」、「機能戦略」を支える強固な経営基盤の確立に向けた諸施策を実行してまいりました。企業理念・経営理念のグループ全体への浸透・徹底やグループガバナンス体制の強化を図るとともに、多様な人材がより活躍できるよう、ダイバーシティの推進にも注力してまいりました。

以上の結果、利益においては、国内外における市場競争の激化や急激な円安による原価の上昇等により、残念ながら営業利益率は目標の10%には至りませんでした。売上高においては目標の2,100億円を達成するなど、長期ビジョン実現に向けた事業規模の拡大や企業体質の強化は着実に進んだと考えております。

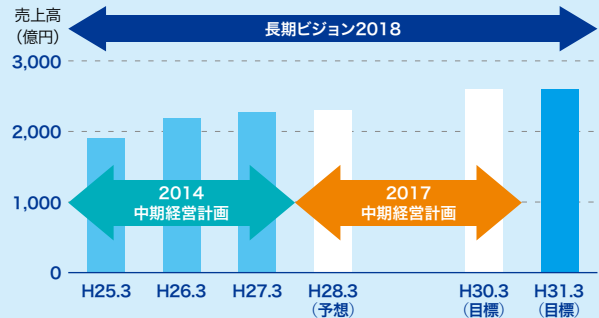
長期ビジョン2018

基本方針

- 「モノづくり」の技術で新たな価値を創造し、夢へ挑戦する
- CSR活動を通じて、社会とともに継続的な企業成長を図る

業績目標

- 売上高 **2,600 億円**
- 営業利益率 **12%**



2017中期経営計画

- | | | | |
|------|---|------|------------------|
| 業績目標 | <ul style="list-style-type: none"> ● 売上高：2,600 億円 ● 営業利益：280 億円 ● 海外売上高比率：50% | 経営指標 | ● ROE： 8% |
|------|---|------|------------------|

【前提為替レート】 1米ドル=120円、1ユーロ=130円、1英ポンド=175円



基本方針

長期ビジョン達成に向けた「顧客起点のモノづくり」による事業成長と収益性向上

基本戦略		
事業戦略	機能戦略	企業戦略
事業規模・領域の拡大による収益性向上 ● 国内事業 ● 海外事業	市場ニーズに応える製品及びサービスのタイムリーな提供 ● 製品開発 ● 生産・調達 ● 品質保証	グループ経営基盤の強化 ● グループ・ガバナンス ● 人事 ● 資本・財務 ● 情報システム

上記目標値は、いずれも計画最終年度における連結ベースの数値です。

『2017中期経営計画』について

『長期ビジョン2018』の実現に向け、事業成長と収益性の向上を推進

当社グループは、『長期ビジョン2018』の実現に向けた取組みを最終ステップへと進め、本年4月より、3年計画の『2017中期経営計画』をスタートさせました。『2014中期経営計画』の成果と課題を踏まえ、「事業戦略」、「機能戦略」、「企業戦略」の3戦略を柱に、事業成長と収益性向上を推進してまいります。

まず、「事業戦略」につきましては、国内事業において、各支店・営業所等、現場営業力の強化により売上拡大を図るとともに、市場ニーズに応えるビジネスモデルや新たな基幹製品の創出に注力してまいります。一方、海外事業においては、徹底した市場分析に基づく地域別戦略を強力に推進するとともに、国内事業で培った独自の技術を活かし、流通市場等の新分野の事業拡大や金融市場の深掘りにも取り組んでまいります。

また、「機能戦略」では、市場ニーズに応える製品・サービスをよりタイムリーに提供するため、開発体制の強化やグローバルな生産・調達の推進により、コスト競争力の向上を図ってまいります。

「企業戦略」では、引き続きグループガバナンス体制の強化に取り組むとともに、資本効率の向上やグローバルな事業展開を支える人材の育成・活用に注力してまいります。

次期の見通しについて

収益性向上に向け企業体質のさらなる強化に注力

次期の日本経済につきましては、雇用情勢や所得環境の改善等を背景に、景気の回復基調は続くものと予想されます。一方、海外につきましては、米国の金融緩和の縮小や欧州の政治・経済情勢不安、中国を始めとする新興国の経済成長の鈍化等による影響は懸念されるものの、全体としては緩やかに回復していくと思われま

す。こうした状況のなか、当社グループは、『2017中期経営計画』の初年度として前述の各戦略を着実に実行し、収益性向上に向け企業体質をさらに強化するとともに、各市場における更新需要を確実に獲得してまいります。平成28年3月期の連結業績につきましては、売上高2,300億円、営業利益200億円、経常利益200億円、親会社株主に帰属する当期純利益* 115億円を目指してまいります。

* 「企業結合に関する会計基準」等の改正に伴い、平成27年3月期に「当期純利益」としていた表示科目は、平成28年3月期より「親会社株主に帰属する当期純利益」に変更されます。

配当について

当期の配当は、前期比5円増の1株あたり54円

当期末の配当につきましては、連結自己資本配当率1.8%を下限、連結配当性向25%以上を目標とした配当を実施するとの基本方針に基づき、期初予想の25円に5円を加え、1株あたり30円とさせていただきました。これにより、中間配当24円を加えた年間配当は、前期比5円増の54円となりました。

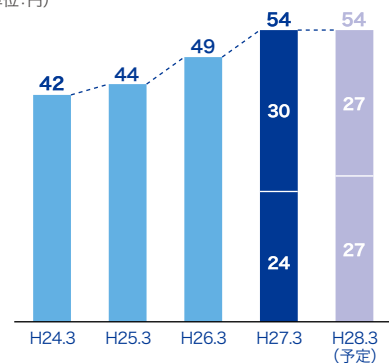
次期の配当につきましては、業績との連動性をより高め、株主のみなさまへの利益還

元をさらに充実させるため、目標指標を「連結自己資本配当率」及び「連結配当性向」から、「連結配当性向」のみに改めるとともに、その目標数値を25%以上から30%以上に引き上げることといたしました。この方針に基づき、次期の配当金は、1株につき54円(中間配当金27円、期末配当金27円)とさせていただきます。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

配当金の推移

(単位:円)



2015年ミラノ国際博覧会 日本館でCASHINFINITY®が活躍

本年5月、イタリア・ミラノで「2015年ミラノ国際博覧会」が開幕。この博覧会は、「地球に食料を、生命にエネルギーを」をテーマに、世界約140カ国が各国館で食文化や食品に関する技術を紹介しています。日本館には、日本の食文化を体感できるフードコートも併設されており、連日多くの来場者で賑わっています。当社はこのフードコートに、海外市場向け製品CASHINFINITY®(キャッシュインフィニティ)の「紙幣・硬貨つり銭機」を搭載した券売機を提供し、円滑な店舗運営をサポートしております。



【開催期間 5月1日～10月31日まで】

日本館の
フードコート



券売機は、フードコート内に8台設置されています



タッチパネルでメニューを選びます

担当者の
声



海外事業本部 商品企画部
広告宣伝&ソリューション
企画グループ
グループマネージャー

石野 一樹

CASHINFINITY®は、ヨーロッパのスーパーマーケットを始めとした海外の小売店で活躍している製品です。今回は、多くの方が訪れるフードコートでスピーディーに注文や支払いができるように、タブレット端末と組み合わせて券売機として使えるようにしました。また、本製品は、ヨーロッパではユーロ紙幣のみに対応していますが、このフードコートには日本からの来場者も見込まれているため、日本の紙幣も使える特別な仕様としております。実際に使用された方からは、「日本の紙幣も使えるとは驚きました。とても便利ですね」という嬉しい声をいただきました。

国際博覧会への製品提供は、当社製品を多くの方に使っていただくチャンスです。新たな市場ニーズを発掘し、製品の開発につなげてまいります。

● CASHINFINITY®のプロモーションビデオは当社ウェブサイトでご覧いただけます。詳しくは、裏表紙をご覧ください。

新機能を加えて オープン出納システムがパワーアップ!

～平成26年11月、オープン出納システム<WAVE Pro>を発売～

昭和61年に当社が開発した「オープン出納システム」は、世界で初めて金融機関における出納業務の無担当化を実現し、以来、幾度のモデルチェンジを経て、お客さまの業務の効率化・厳正化に貢献してまいりました。現在では約14,000もの店舗で活躍し、業界トップシェアを誇る当社の主力製品へと成長しております。

そして、平成26年11月、当社は、第5世代目の「オープン出納システム<WAVE Pro>」を発売。操作性の向上はもちろん、損券・損貨*の管理や新札の自動精査を業界で初めて実現いたしました。近年ますます高まる効率化ニーズにお応えする新製品です。

* 汚れや傷のついた紙幣・硬貨



WAVE Pro

<WAVE Pro>の“Pro”は、Progress(進歩・発展)の意味。新しい技術を開発し続け、「オープン出納システム」をさらに進化させていきたいという思いが込められています。

「オープン出納システム」について

約30年前の金融機関では、例えば、「新札に両替してほしい」と紙幣を預かった窓口担当者は、預かった紙幣を持って、出納担当者、再鑑者*など、複数の担当者による事務手続きを経る必要があり、お客さまを窓口で長くお待たせすることもありました。「オープン出納システム」の誕生により、窓口担当者は他の担当者を介さず自分で現金を入出金できるようになり、出納業務の大幅な効率化と管理の厳正化が実現しました。今や金融機関にとって欠かせない存在となっています。

* 「再鑑」とは、数えた現金を、別の人が再確認することです。



金融機関店舗

<WAVE Pro>の特長

「イメージ処理機能」により、 損券・損貨の管理も可能に

「イメージ処理機能」により、これまで手作業で管理されていた損券・損貨や旧紙幣・旧硬貨、記念硬貨等を画像データ化し、「オープン出納システム」で在高を管理できるようにしました。

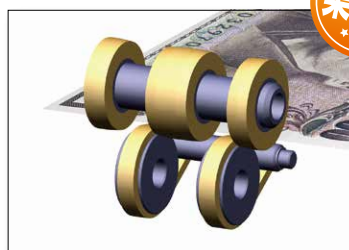


画像データ化による在高管理を実現

新札の自動精査を実現

機械内の現金を再計数し、データと照合する“自動精査機能”は従来機にもありましたが、紙幣搬送時にローラーの汚れが紙幣に付着することがあり、新札は手作業で計数していました。

<WAVE Pro>は、ローラー同士が接触しない新搬送技術を搭載し、業界で初めて新札の自動精査を実現しました。



紙幣を繰り出すときにローラー同士が接触せず、紙幣に汚れが付着しにくい新搬送技術

使いやすさを追求した設計

操作部に15インチの大型タッチパネルを採用し、現金の投入・投出場所やエラー発生時の復旧ガイダンス等をアニメーションで分かりやすく表示します。また、構造面では、硬貨取出口を広げてスムーズに硬貨を取り出せるようにしたり、内部構造の改良によりユニットを引き出して紙幣を取り出す際も簡単に行えるようにするなど、誰もが使いやすい設計にしました。



ユニットの引出しを伴う紙幣の取出しも簡単

担当者の
声



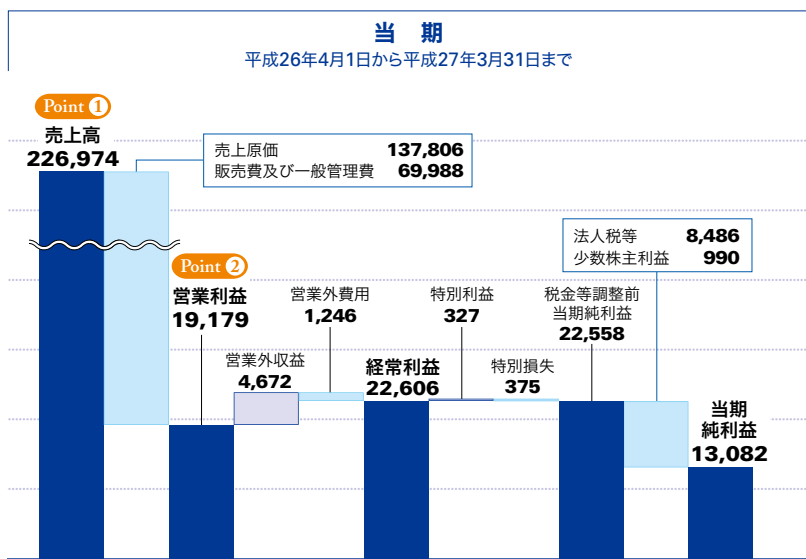
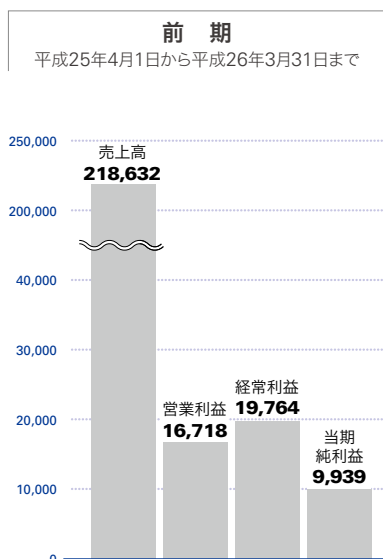
国内事業本部
商品企画統括部 商品企画三部
商品企画1グループ

山下 聡子

金融機関には街中の様々な場所で使われた紙幣や硬貨が集まってきますが、なかには汚れたり破損しているものもあります。本製品は、こうした損券・損貨等の機械管理を業界ではじめて実現し、出納業務にかかる時間を大幅に短縮しました。また、店舗で働く多くの女性にとってより使いやすい製品を目指し、操作性の改善にも力を入れました。

これからも、お客さまのニーズにお応えできる製品を開発してまいります。

連結損益計算書の概要 (単位: 百万円)



Point

① 売上高

流通・交通市場の販売は前期並みでしたが、金融市場や遊技市場、海外市場の販売が増加したことから、前期に比べ3.8%増加しました。

② 営業利益

円安による海外調達コストの増加等により売上原価率は上昇したものの、経費削減効果等により販売費及び一般管理費は減少し、前期に比べ14.7%増加しました。

③ 固定資産

タラリス社買収に伴う「のれん」等の償却が進み、無形固定資産が前期に比べ42億63百万円減少しました。

④ 負債

タラリス社買収に伴う借入金の返済を進めた結果、前期に比べ短期借入金が73億77百万円、長期借入金が34億6百万円減少しました。

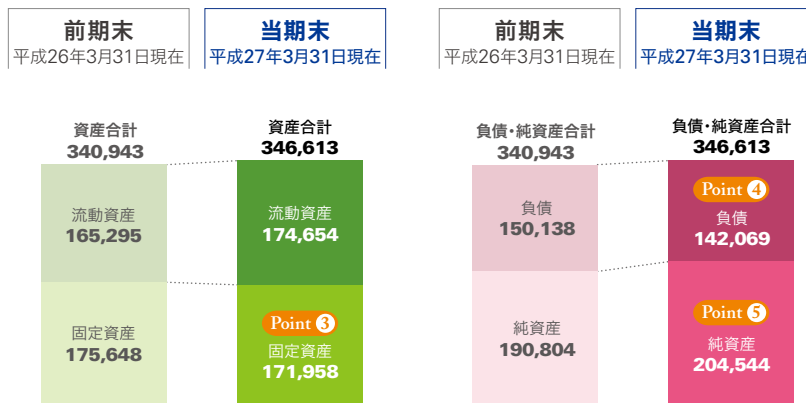
⑤ 純資産

利益剰余金の増加等により、前期に比べ137億40百万円増加しました。

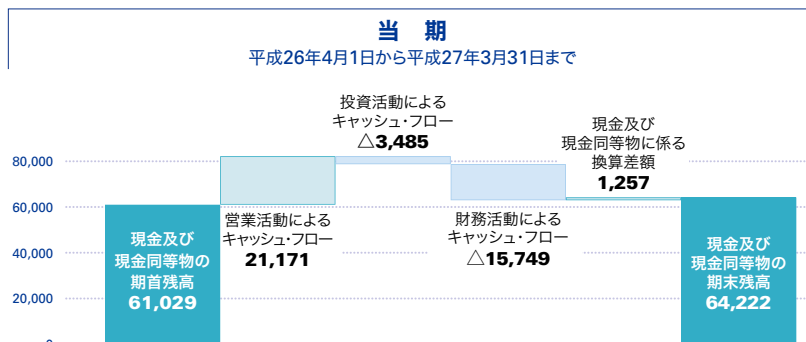
⑥ 連結キャッシュ・フロー計算書

財務活動の結果使用した資金は、借入金の返済等の結果、157億49百万円となったものの、営業活動によって得られた資金は211億71百万円となったこと等により、現金及び現金同等物の当期末残高は前期末と比べて31億93百万円増加し、642億22百万円となりました。

連結貸借対照表の概要 (単位: 百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位: 百万円)



会社概要

商号	グローリー株式会社 GLORY LTD.
設立	昭和19年(1944年)11月27日
資本金	12,892,947,600円
ウェブサイト	http://www.glory.co.jp
従業員数	3,262名(連結 7,802名) (平成27年3月31日現在)
本社	〒670-8567 兵庫県姫路市下手野一丁目3番1号 TEL : 079-297-3131 (代表)
事業所	本社・本社工場 (兵庫県姫路市) 東京本部 (東京都千代田区) 品川事業所 (東京都品川区) 埼玉工場 (埼玉県加須市) 支店等 東北支店(宮城県)、関東支店(埼玉県)、 上信越支店(群馬県)、首都圏支店(東京都)、 東海支店(愛知県)、近畿支店(大阪府)、 中国支店(広島県)、四国支店(香川県)、 九州支店(福岡県) 姫路物流センター、姫路パーツセンター 39営業所、32出張所、3サービスセンター

連結子会社

【国内】

- グローリープロダクツ株式会社
- グローリーAZシステム株式会社
- グローリーサービス株式会社
- 北海道グローリー株式会社
- グローリーIST株式会社
- グローリーナスカ株式会社
- 株式会社グローリーテクノ24

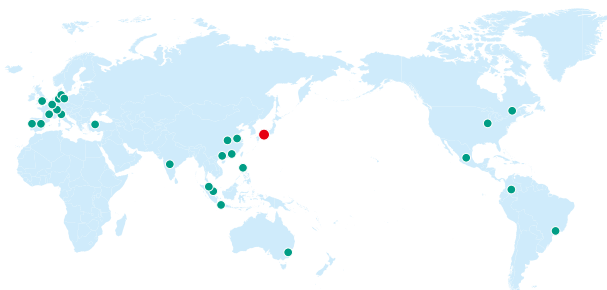
【海外】

- 光栄電子工業(蘇州)有限公司
- GLORY (PHILIPPINES), INC.*
- Sitrade Italia S.p.A.
- Glory Global Solutions Ltd.
- Glory Global Solutions (International) Ltd.
- Glory Global Solutions (France) S.A.S.
- Glory Global Solutions Inc.
- Glory Global Solutions (Singapore) Pte. Ltd.
- Glory Global Solutions (Shanghai) Co., Ltd.

他22社

*GLORY (PHILIPPINES), INC.は、平成27年4月1日付で連結子会社となりました。

当社グループの主な拠点



役員一覧

取締役

代表取締役社長	尾上 広和
取締役	三和 元純
取締役	吉岡 徹
取締役	尾上 英雄
取締役	馬淵 成俊
取締役	小谷 要
取締役	原田 明浩
社外取締役	佐々木 宏機
社外取締役	新島 昭

監査役

常勤監査役	大谷 俊彦
常勤監査役	長島 正和
社外監査役	中上 幹雄
社外監査役	濱田 聡

株式の状況 (平成27年3月31日現在)

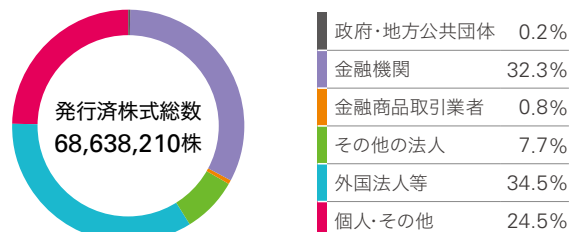
発行可能株式総数	150,000,000株
発行済株式の総数	68,638,210株 (自己株式 2,951,231株を含む)
株主数	7,250名(前期比 388名減)

大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	4,033	5.9
日本生命保険相互会社	3,427	5.0
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,296	3.3
株式会社三井住友銀行	2,100	3.1
グローリーグループ社員持株会	1,977	2.9
JP MORGAN CHASE BANK 385174	1,953	2.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,839	2.7
タツボーファッション株式会社	1,500	2.2
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE 15PCT TREATY ACCOUNT	1,270	1.9
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	1,013	1.5

(注) 上記のほか、当社が所有している自己株式2,951,231株があります。

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月に開催いたします。

基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
その他必要があるときは、
あらかじめ公告して定めます。

単元株式数 100株
上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部

証券コード 6457

公告方法 電子公告によります。ただし、事故
その他やむを得ない事由によって
電子公告による公告をすることが
できない場合は、日本経済新聞に
掲載して行います。
[公告掲載URL]
<http://www.glory.co.jp>

株主名簿管理人 / 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

[各種お問合せ先 / 郵便物送付先]
三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL : 0120-094-777 (通話料無料)
受付時間 9:00~17:00
(土、日、祝祭日、年末年始を除く)
(ウェブサイトアドレス) <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

(ご注意)

1. 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱できませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でのお支払いいたします。

当社ウェブサイト 動画ライブラリーのご案内

6頁でご紹介したCASHINFINITY®のプロモーションビデオを始め、会社紹介ビデオ、CSR情報等、当社に関する様々な動画をご覧いただけます。



URL

<http://www.glory.co.jp/company/movie/>



グローリー 動画ライブラリー

検索



地球環境保護のためにFSC®認証紙と大豆油インキを使用しています。